

応用生態工学会

第7回研究発表会発表申込み者 各位

応用生態工学会事務局 事務局長 西 浩司
 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 第7麹町ビル25号室
 TEL.03-5216-8401 FAX.03-6216-8520
 e-mail:see@blue.ocn.ne.jp
 (ホームページ)http://www.ecesj.com/

前略

この度は、第7回研究発表会への発表申込みありがとうございました。全部で61本の発表申込みをいただきました。1題ポスター発表が増える見込みです。

2003年8月25日(月)に大会運営委員会を開催し、別紙のように全体のプログラムを組みました。これはまもなく、会員全員のお手元に申し込み用紙とともに郵送される予定です。

- 1)4日のポスター発表は、「ポスター発表希望」と記入いただいた方と、口頭発表からポスター発表に変更していただいた方とする(全部で25本)
- 2)4,5日の口頭発表は、4本で1セッションとして、分類し組み合わせる(全部で36本)
- 3)発表時間は、1本の口頭発表15分(発表時間12分質疑応答3分)とする。プログラムが混んでいることから、時間厳守を徹底する。
- 4)各セッション毎に、応用生態工学会役員等から司会者を選定する。
- 5)昨年始めたポスター賞に加え、口頭発表も表彰の対象とする。大会期間中または後に表彰を行う予定。

各発表予定者は、**各自プログラムをご確認下さい**。お名前・所属等(連名者も含む)にワープロミス・変更などがありましたら、至急お知らせください。当日の配布の講演集で対応させていただきます。また、ニュースレターNo.22号に示しましたように、**9月16日(火)までに「研究発表要旨原稿」**を応用生態工学会事務局まで御提出下さい。要旨(A4縦、4枚以内)の作成要領はニュースレターNo.22号(学会ホームページのみ掲載しています)7ページを参照して下さい。やむを得ずプログラムを変更する場合には事前にご連絡します。ホームページでも確認いただけるようにいたします。

研究発表者も大会参加申し込みが必要です。申込書に記入FAXいただくか、ホームページの申し込みフォームを利用してください。

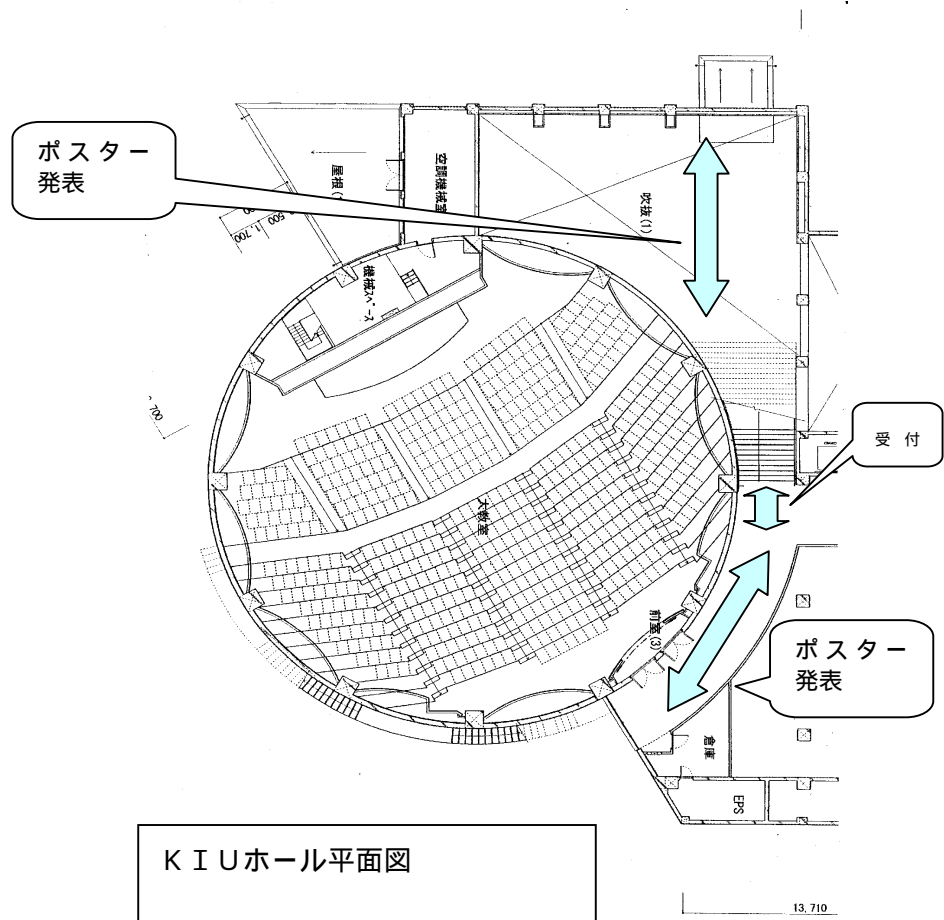
【ポスター発表の方へ】

1.研究発表要旨原稿

ポスター発表の方も、口頭発表の場合と同じく、**9月16日(火)までにA4縦4枚以内の研究発表要旨原稿**をご提出ください。作成要領は、「応用生態工学会ニュースレターNo.22の7ページをご覧ください。

2.概要のプレゼンテーションは行いません

・例年、ポスター発表に先立ち、ホールで発表内容の概要(見所、聞き所)の口頭アピールを行って



いただいておりますが、今回は発表数が多いため行いません。従って OHP で概要をまとめていただく必要はありません。

3.ポスター発表(16:50～18:30)

- ・会場は、九州国際大学K I Uホール（前ページの図参照）のロビーです。当日ご確認ください。
- ・使用できるパネルは、縦長で、大きさは横 90cm×縦 200cm の予定ですが、利用可能スペースの関係等で変更がある場合は、再度ご連絡します。
- ・各自の発表番号がついたパネルを、自由なレイアウトでご使用ください。
- ・貼り付けには、画鋸かテープを使用してください(受付に用意します。)
- ・ポスターの貼り付けは受付を終えてから、10月4日(土)13:00までの間に行ってください。
- ・ポスター発表時間内(16:50～18:30)は、発表者はポスターの前において、適宜、発表、質疑応答をお願いします。指示棒/ポインター/補足配布資料等は、各自でご用意願います。
- ・ポスターの撤収は、10月5日(日)13時00分までをお願いします。

【口頭発表の方へ】

当日の会場での発表にあたって、

スライド 発表1時間前には、会場受付に来て自分でセットする。

OHP 発表時自分で交換する。

ビデオプロジェクター(パワーポイント) 利用可能媒体はCD-ROM、MOディスク(640MBまで)、メモリーカード、USBメモリー。OSはWindowsXP、パワーポイントのバージョンは2002(MS-Office XP)です。MACでパワーポイントファイルを作成される方は、事前にWindows上で正しく表示されるかどうかチェックされることをお勧めします。

いずれの方法を使用するか、事前に事務局まで連絡(FAXまたはe-mail)を下さい。

【上記を選択された方へ】

- 1) 使用媒体は事前(10月1日必着)に下記まで送付してください。媒体には発表番号、発表者氏名をご記入ください。念のためファイルの入った予備の媒体を大会当日ご持参ください。
- 2) 要旨の発送の際に使用媒体とその発送予定日を応用生態工学会事務局までメールかFAXでお知らせください。
- 3) 媒体の事前送付がどうしても無理な場合は、
 - ・東京の応用生態工学会事務局まで持参予定日時をお知らせください。
 - ・10月4日発表予定の方は、前日(10月3日)17:00までにK I Uホールに設置する受付まで持参してください。
 - ・10月5日発表予定の方は、前日(10月4日)17:00までに受付に持参してください。
- 4) 事前に媒体をお送りいただいた方は、10月4日発表分は10月4日の9:00までに、10月5日発表分は10月4日の18:30までにチェックしてください。
- 5) 事前に事務局の準備するパソコンにインストールしますので、媒体持参の方はその場でチェックをお願いします。
- 6) チェックはK I Uホール内の実行委員会控え室で行ってください。
- 7) 媒体は発表終了後、受付で返却します。

【媒体送付先】 (要旨送付・連絡は東京の応用生態工学会事務局へ)

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1-1-1 サウザンビル4F

西日本技術開発(株) 環境部 原田圭助 (TEL:092-781-2625, FAX:092-726-4880)

e-mail: k-harada@wjec.co.jp

以上

【全体スケジュール】

10月3日(金) - 1日目 -	[]内は理事会等関係者のみ対象です
10:00	ホール開場、受付開始
10:30~12:00	第7回総会 [総会終了後に理事会・幹事会を開催]
12:00~13:00	昼休み
13:00~17:30	エクスカージョン(遠賀川の現場など)
18:00~19:00	[拡大編集委員会]
10月4日(土) - 2日目 -	
08:30	ホール開場、受付開始
09:00~14:00	第7回研究発表会「口頭発表」
14:00~16:50	公開シンポジウム『川と川辺のリンケージ：健全な河川生態系を修復するために』
16:50~18:30	第7回研究発表会「ポスター発表」(発表)
18:30~20:00	懇親会(ホール隣接レストラン「K I Uカフェ」)
10月5日(日) - 3日目 -	
09:00~14:30	第7回研究発表会「口頭発表」
14:30~17:30	ミニシンポジウム『有明海・八代海ミニシンポジウム - 森・川・海の自然連鎖系を考える - 』

【研究発表会・一般講演内容(ポスター発表)】 *印は発表者

ポスター発表 4日(土) - 2日目 - 16:50~18:30	
P-1. 「溪流におけるモンカゲロウの産卵場所選択性～とくに河床間隙水域の物理化学的特性との関係について～」	田中武志* (京都大学大学院工学研究科)、山田浩之(京都大学防災研究所)、竹門康弘(同)、池淵周一(同)
P-2. 「北海道北部の小河川におけるヒゲカガヒ(Stenopsyche marmorata)の巣網が河床礫安定性に及ぼす影響」	高尾彰* (京都大学地球環境大学院)、布川雅典(北海道大学農学研究科)、五味高志(ブリティッシュコロンビア大学森林資源管理学講座)、根岸淳二郎(シンガポール国立大学地理学研究科)、中原修(和光技研㈱)
P-3. 「高頻度の河床攪乱が河川性無脊椎動物の多様性を高める」	三宅洋* (岐阜大学流域圏科学研究センター)、日浦勉(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)、中野繁(元京都大学生態学研究センター)
P-4. 「貯水ダム下流域の底質環境と底生動物群集の特性」	波多野圭亮* (京都大学大学院工学研究科)、竹門康弘(京都大学防災研究所)、池淵周一(同)
P-5. 「北浦沿岸域に生息する底生動物群集を用いた環境影響評価」	土谷卓* (茨城大学広域水圏センター)、中里亮治(同)
P-6. 「砂防ダム魚道における魚カウンターの研究について」	近藤康行* (新潟大学大学院自然科学研究科)、権田豊(新潟大学農学部)、松崎健(同)、山本仁(同)
P-7. 「遡上サケの死体(ホツチャレ)による河畔林への栄養添加について」	長坂有* (北海道立林業試験場)、長坂晶子(同)、伊藤絹子(東北大学大学院農学研究科)、間野勉(北海道立環境科学研究センター)
P-8. 「北海道日本海沿岸の山地溪流における有機物の動態と源流域の果たす役割 - 森・川・海の物質循環に関する基礎的研究 - 」	長坂晶子* (北海道立林業試験場)、河内香織(東京大学大学院農学研究科)、柳井清治(北海道工業大学工学部)
P-9. 「水田に設置した魚道を遡上・降下する生物の日周期」	秋元一成* (弘前大学農学生命科学部)、東 信行(同)

- P-10. 「岩木川下流芦野頭首工における移動阻害について」
吉田聡子* (弘前大学農学生命科学部)、斉藤 裕(岩木川漁業協同組合)、泉 完(弘前大学農学生命科学部)、東信行(同)
- P-11. 「圃場整備事業前後における小河川の魚類相の変化」
藤咲雅明* (宇都宮大学農学部農業環境工学科)、水谷正一(同)、鈴木正貴(宇都宮大学大学院農学研究科)、守山拓弥(同)、後藤 章(同)
- P-12. 「都市近郊に残された素掘水路内の魚類群集に関する調査」
田代優秋* (徳島大学大学院工学研究科)、上月康則(徳島大学大学院工学研究科)、佐藤陽一(徳島県立博物館)、大久保美知子(徳島大学大学院工学研究科)、山崎敏生(徳島大学大学院工学研究科)、村上仁士(徳島大学大学院工学研究科)
- P-13. 「鬼怒川における礫質河原再生のためのカワラノギク生育適地の検討」
村中孝司* (東京大学農学生命科学研究科)、西廣淳(同)、鷲谷いづみ(同)
- P-14. 「松浦川アザメの瀬における氾濫原湿地の再生」
島谷幸宏* (国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所)、大塚健司(同)、今村正史(同)、廣松洋一(同)
- P-15. 「釧路湿原広里地区における地下水環境の実態および湿原再生手法の検討」
山田浩之* (京都大学防災研究所)、中村隆俊(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)、仲川泰則(同)、濱裕人(環境コンサルタント㈱)、中村太士(北海道大学大学院農学研究科)、渡辺綱男(環境省東北北海道地区自然保護事務所)
- P-16. 「釧路湿原広里地区における植生と環境の対応関係」
中村隆俊* (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)、山田浩之(京都大学防災研究所)、仲川泰則(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)、笠井由紀(環境コンサルタント㈱)、中村太士(北海道大学大学院農学研究科)、渡辺綱男(環境省自然環境局東北北海道地区自然保護事務所)
- P-17. 「期別刈り取り実験によるヒメガマ (*Typha angustifolia*) の再生長特性と地下部動態の評価」
渡辺哲広* (埼玉大学大学院理工学研究科)、田中規夫(埼玉大学工学部)、武村 武(埼玉大学大学院理工学研究科)、湯谷賢太郎(埼玉大学工学部)、小川友浩(埼玉大学大学院理工学研究科)、浅枝隆(同)
- P-18. 「遺伝的多様性を考慮に入れた霞ヶ浦のアサザ群落の復元」
上杉龍士* (東京大学大学院農学生命科学研究科)、谷尚樹((独)森林総合研究所)、西廣淳(東京大学大学院農学生命科学研究科)、津村義彦((独)森林総合研究所)、五箇公一(国立環境研究所)、鷲谷いづみ(東京大学大学院農学生命科学研究科)
- P-19. 「河床付着物と視覚的評価の関係に関する研究」
皆川朋子* ((独)土木研究所自然共生研究センター)、福嶋悟(横浜市環境科学研究所)、萱場祐一((独)土木研究所自然共生研究センター)、尾澤卓思((独)土木研究所)
- P-20. 「早瀬における礫構造からみた生息場評価」
三宅基文* (東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻)、知花武佳(同)、辻本哲郎(同)
- P-21. 「川幅の変化が河川の物理的ハビタットに及ぼす影響」
萱場祐一* ((独)土木研究所自然共生研究センター)、尾澤卓思((独)土木研究所)
- P-22. 「雄物川における河川のダイナミズムと河川環境の回復に向けて」
大西喜夫(国土交通省東北地方新庄河川事務所)、大森喜満(国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所)、野谷靖浩* (財団法人リバーフロント整備センター)、小川鶴蔵(同)、高田晋(同)、竹内義幸((株)建設技術研究所)、工藤容子(アジア航測(株))
- P-23. 「河川における外来種の侵入と対策実施状況」
野谷靖浩* ((財)リバーフロント整備センター)、岡田昭八(同)、内田誠治(㈱建設環境研究所)、宮脇成生(同)
- P-24. 「藻場を形成する海藻の遺伝的多型性に関する研究」
蓬菜亜希良* (愛媛大学大学院理工学研究科)、増田理子* (名古屋工業大学社会開発工学科)、有高智美(愛媛大学大学院理工学研究科)、金本自由生(愛媛大学沿岸環境科学研究センター)、北村真一(同)、武岡英隆(同)
- P-25. 「浅い水域における藍藻類による水の華抑制手法(シアノバスター)に関する研究開発」
古里栄一* ((有)環境水理研究所)、井芹寧(西日本技術開発(株))、伊藤忠男((株)丸島アクアシステム)、浅枝隆(埼玉大学理工学研究科)
- P-26. << 1 題 追加予定 >>

【研究発表会・一般講演内容（口頭発表）】

* 印は発表者

口頭発表 4日(土) - 2日目 -		9:00~14:00
セッション1 (外来種・遺伝的特性・住民参加)		
09:00	1-1. 「河川最上流域に棲息する底生動物の遺伝的特性-ガガンボカゲロウ類(昆虫綱・カゲロウ目)におけるミトコンドリア遺伝子(mt 16SrRNA)配列の種内変異を例に-」 東城幸治* ((独)農業生物資源研究所)	
09:15	1-2. 「外来牧草シナダレスズメガヤの水散布による分布拡大」 中山直樹* (東京大学大学院農学生命科学研究科) 西廣 淳(同)、鷲谷いづみ(同)	
09:30	1-3. 「京都市深泥池における外来魚駆除による個体群抑制効果」 安部倉完* (京都大学理学研究科) 竹門康弘(京都大学防災研究所)	
09:45	1-4. 「アザメの瀬自然再生事業における住民参加と地域知識の活用」 渡辺敦子* (東京大学大学院農学生命科学研究科) 西廣淳(同) 島谷幸宏(国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所) 鷲谷いづみ(東京大学大学院農学生命科学研究科)	
10:00~10:10 - 休憩 -		
セッション2 (栄養塩循環・植生の再生)		
10:10	2-1. 「出水による付着藻類の剥離後の回復過程における栄養塩の影響」 坂本健太郎* (三井共同建設コンサルタント株)、安東利吉(同) 田村健(同) 本間陽子(同) 池田敏男(国土交通省信濃川河川事務所) 浅枝隆(埼玉大学大学院理工学研究科)	
10:25	2-2. 「モデルを用いた刈取り時期と生息地栄養状態の違いがヨシ(<i>Phragmites australis</i>)の再生期間に与える影響」 湯谷賢太郎* (埼玉大学工学部) 田中規夫(同) 浅枝隆(埼玉大学大学院理工学研究科)	
10:40	2-3. 「マコモ(<i>Zizania latifolia</i>)を介在した栄養塩の循環の季節変化」 佐原範也* (埼玉大学大学院理工学研究科) 浅枝隆(同) グエン キム ラン(同)、佐々木涉(同)、藤野毅(同)	
10:55	2-4. 「霞ヶ浦における土壌シードバンクを活用した湖岸植生の再生;初期の植生を決める要因」 西廣淳* (東京大学大学院農学生命科学研究科) 西口有紀(同) 安島美穂(同)、高川晋一(同)、鷲谷いづみ(同)	
セッション3 (河川構造物の影響と保全対策)		
11:10	3-1. 「根尾川第8床固工における稚鮎の跳躍高度等についての測定結果」 板垣博* (岐阜大学農学部) 白木政光((有)アクアデザイン)	
11:25	3-2. 「ダム下流のアーマコートサイトは経年的に増加・伸長する」 中村智幸* (水産総合研究センター中央水産研究所)	
11:40	3-3. 「三春ダムを事例としたフラッシュ放流によるダム下流河川の環境改善について」 小部貴宣* (応用地質株)、浅見和弘(同) 大杉奉功((財)ダム水源地環境整備センター) 浦上将人(北海道開発局) 伊藤尚敬(東北建設協会)	
11:55	3-4. 「信濃川における魚類遡上環境改善の取り組み」 池田敏男* (国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所) 森川一郎(同) 畠中泰彦(同)	
12:10~13:00 - 昼休み -		
セッション4 (環境の定量評価・解析手法(1))		
13:00	4-1. 「河川ネットワークデータを用いた河川構造物による流域分断化と魚類への影響」 亀山哲* (国立環境研究所) 福島路生(同) 島崎彦人(同) 高田雅之(北海道環境科学研究センター) 金子正美(酪農学園大環境システム学部)	
13:15	4-2. 「ダムによる流域分断と淡水魚類の種多様性 - 北海道における定量的解析」 福島路生* ((独)国立環境研究所) 亀山哲(同) 高田雅之(北海道環境科学研究センター) 金子正美(酪農学園大学)	
13:30	4-3. 「東京都の河川を対象とした底生生物指標による河川の健全度の評価手法(ABI)の開発とその特性」 小堀洋美* (武蔵工業大学環境情報学部) 春木智洋(同)、巖網林(慶応大学環境情報学部)	
13:45	4-4. 「河川の健全度の評価手法(ABI)を用いた東京都主要河川の類型化と多自然型河川改修の評価」 オカノ ユーガナワティー* (武蔵工業大学環境情報学部) 小堀洋美(同) 所壮登(同) 久居宣夫(国立科学博物館付属自然教育園)	

口頭発表 5日(日) - 3日目 -		8:30 ~ 14:30
セッション5 (環境の定量評価・解析手法(2))		
08:30	5-1. 「河口干潟の生態系の定量評価について」 馬場崎正博* (福岡市保健環境研究所) 岡本久人(九州国際大学次世代システム研究所) 岩本浩(環境テクノス株) 小野原一(同)、山内鋭司(アジア航測株) 高比良光治((財)九州環境管理協会) 奥田哲也(応用技術株) 町田実(株日立製作所) 岡田徹((財)日本野鳥の会) 森本嘉人(同) 中野敦(株九州テクノリサーチ) 小山 悟(株新日化環境エンジニアリング) 嶺井久勝(古賀市自然環境調査研究会) 池隅達也(同)、小野勇一(北九州市立自然史・歴史博物館)	
08:45	5-2. 「河口干潟生態系における環境評価手法の研究 - 航空写真による干潟底生動物分布把握手法 - 」 山内鋭司* (アジア航測株) 高比良光治((財)九州環境管理協会) 馬場崎正博(福岡市保健環境研究所) 小野勇一(北九州市立自然史・歴史博物館)	
09:00	5-3. 「河口干潟生態系における環境評価手法の研究 - ラジコンヘリによる干潟底生動物分布把握手法 - 」 奥田哲也* (応用技術株) 高比良光治((財)九州環境管理協会) 町田実(株日立製作所) 馬場崎正博(福岡市保健環境研究所) 小野勇一(北九州市立自然史・歴史博物館)	
09:15	5-4. 「ハヤブサ繁殖誘導のための人工巣場の研究」 岡本久人* (九州国際大学次世代システム研究所) 岡田徹((財)日本野鳥の会) 森本嘉人(同) 小野勇一(北九州市立自然史・歴史博物館)	
セッション6 (モニタリング・調査手法)		
09:30	6-1. 「河川環境におけるユスリカ類を利用した生物モニタリングの試み」 平林公男* (信州大学繊維学部) 中本信忠(同)	
09:45	6-2. 「新しい調査ツール, マルチテレメトリシステムを用いた野生動物研究」 傳田正利*((独)土木研究所) 尾澤卓思(同) 岩本敏孝(宮崎大学教育文化学部) 久木田重蔵(NTTアドバンステクノロジー)	
10:00	6-3. 「バイカモ群落復元事業後の長期事後観察」 安藤義範*(株ウエスコ) 山本孝洋(同)、笹田直樹(同)、國井秀伸(島根大学汽水域研究センター)	
10:15	6-4. 「琵琶湖の湖岸環境に関する研究3 - 1997~2002年の沈水植物の変化 - 」 大村朋宏(水資源開発公団琵琶湖開発総合管理所) 播磨光一(同) 松本潤(同) 堀家健司*(国土環境株)	
10:30 ~ 10:40 - 休憩 -		
セッション7 (下流域・農業用水路系のハビタットと生物)		
10:40	7-1. 「農業用排水路系における物理環境の違いがドジョウ個体群の季節的消長に及ぼす影響について」 小出水規行*(農業工学研究所) 竹村武士(同) 奥島修二(同) 山本勝利(同) 蛭原周(日本海洋株)	
10:55	7-2. 「標識調査によるドジョウの移動距離に関する考察」 竹村武士*(農業工学研究所) 小出水規行(同) 奥島修二(同) 山本勝利(同)	
11:10	7-3. 「河川 - 水路 - 水田の連続性と魚類群集に関する研究」 若宮慎二*(復建調査設計株) 尾澤卓思((独)土木研究所)	
11:25	7-4. 「ヨシノボリ類から見た城北ワンド群の現状 トウヨシノボリ縞鱗型の生息場所選択と摂餌生態」 石田裕子*(京都大学大学院工学研究科) 竹門康弘(京都大学防災研究所)	
セッション8 (小河川・上流域のハビタットと生物)		
11:40	8-1. 「流路変更した小河川でのゲンジボタル (<i>Luciola cruciata</i>) 幼虫の微生息場所」 岡田久美子*(宮崎大学農学部) 西脇亜也(同)、伊藤 哲(同)	
11:55	8-2. 「モクズガニの小河川内の分布状況」 小林哲*(無所属)	
12:05	8-3. 「実験河川における流量変化が魚類の生息状況に与える影響」 荒井浩昭*((独)土木研究所)、佐川志期(同)、萱場祐一((独)土木研究所自然共生研究センター)、皆川朋子((独)土木研究所)、河口洋一((独)土木研究所自然共生研究センター)、尾澤卓思((独)土木研究所)	
12:20	8-4. 「礫床河川に優占する造網型トビケラの個体群動態とその影響」 田代喬*(名古屋大学大学院工学研究科)、渡邊慎多郎(同)、辻本哲郎(同)	
12:35 ~ 13:30 - 昼休み -		
セッション9 (砂州・水際域の機能・動態・再生)		
13:30	9-1. 「砂洲に入江(ワンド)を掘って河川を豊かに(安部川での実験)」 槌田敦*(名城大学経済学部)	
13:45	9-2. 「木津川下流域における砂州地形と植生域の変遷」 寺本敦子*(名古屋大学大学院工学研究科) 辻本哲郎(同)	
14:00	9-3. 「水生生物にとっての水際域の機能」 河口洋一*((独)土木研究所自然共生研究センター)、齊木雅邦(中部地方整備局中部技術事務所)、水野徹(中部地方整備局河川部)、萱場祐一((独)土木研究所自然共生研究センター)	
14:15	9-4. 「交互砂州が形成された河道に生じる水際環境に関する研究」 知花武佳*(東京大学大学院工学系研究科) 佐々木学(同)、辻本哲郎(同)	
14:30 - 終了 -		

応用生態工学会 第7回大会(福岡大会)

開催月日：2002年10月3日(金)～5日(日)

会場：九州国際大学KIUホール (福岡県北九州市)

共催：(社)日本環境アセスメント協会九州支部、後援：国土交通省九州地方整備局、北九州市

参加申込書

下記の通り参加申込みいたします。

申込み月日：____月____日

(氏名) _____

正・学生会員 No. _____

(所属) _____

賛助会員 No. _____

(連絡先) 自宅 所属 (いずれかに) _____

JEAS 会員 No. _____

〒 _____

住所： _____

TEL . _____ FAX . _____

E-mail : _____

【参加申込み事項】

(参加・不参加いずれかに)

- . 第7回総会(正会員) [10月3日(金) 10:30～12:00] 参加・不参加
- . 公開シンポジウム『川と川辺のリンケージ：健全な河川生態系を修復するために』
【無料】 [10月4日(土) 13:00～16:30] 参加・不参加
- . 第7回研究発表会(ポスター)[10月4日(土) 16:30～18:30]
(口頭)[10月4日(土) 09:00～14:00]
(口頭)[10月5日(日) 08:30～14:30] 参加・不参加
- . ミニシンポジウム『有明海・八代海ミニシンポジウム-森・川・海の自然連鎖系を考える-』
[10月5日(日) 14:30～17:30] 参加・不参加
【～参加料】 正会員・賛助会員 ; 5,000円
学生会員 ; 3,000円
非会員 ; 7,000円
学生非会員 ; 4,000円
(ミニシンポジウムのみ参加者は一律2,000円)
- . エクスカーション [10月3日(金) 13:00～17:00]
【参加料】 (一律) ; 2,000円 参加・不参加
- . 懇親会 [10月4日(土) 18:30～20:00、KIUカフェ]
【参加料】 (一律) ; 4,000円 参加・不参加

合計参加料 _____ 円

・合計参加料は、**9月30日**までに指定口座に振り込み下さい。

[申し入れ事項] 貴機関の経理上請求書等が必要、また事前振り込みが無理な場合等がありましたらご記入下さい。

[問い合わせ先]

応用生態工学会事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5第7麹町ビル25号室

TEL.03-5216-8401 FAX.03-5216-8520 E-mail:see@blue.ocn.ne.jp

(ホームページ)http://www.ecesj.com/